

日 時	令和8年2月2日(月) 13:35~15:25
学校名/機関名	小山市立桑中学校
対 象	1年生(136名) 教員(6名)
講 師	奥澤 健二 氏(奥澤産業株式会社 代表取締役社長) 宮嶋 有樹 氏(NHK宇都宮放送局 局長)
内 容	<p>生徒たちが将来職業に就くにあたり、「働くことの意義」をテーマに、講師が鉄鋼業界と放送メディアという異なる分野の最前線から仕事の本質を語りました。</p> <p>まず、BtoBという取引形態があることや、鉄という素材が不可欠であることを解説しました。また、テレビ番組におけるデザインとは、単に美しいものを作るだけでなく、情報を正確に伝え、人々の暮らしを豊かにする設計全般を指すものであることと、その幅広さを教え、どの分野でも「課題を解決する力」が不可欠であると説きました。仕事を進めるにあたっては、手順の順守、そしてチームプレイの重要性、責任の重さや社会貢献の喜びを強調しました。</p> <p>経営の観点からは、人を「人財」と捉える姿勢や、信頼と健全の三本柱を紹介しました。資源のリサイクル性やCO2削減の取り組みなど環境問題についても触れました。失敗からの学びで自信が育まれること、他者の気持ちを理解し尊重する大切さも語りました。</p> <p>最後に、逆境を乗り越える力(レジリエンス)を備え、何事にも前向きに挑戦し続けることの重要性を伝え、講話を締めくくりました。</p>

